

※試料採取については、採取前に必ず事前に当社担当に確認してください。  
 事前の確認がない場合は、再度の地質分析をお願いしたり、受け入れをお断りすることもあります。

受入地（三郷市番匠免）における試料採取方法及び写真撮影  
 （5地点混合方式）

（凡例）試料採取位置  
 ●揮発性物質を含む地質分析試験全項目用

※5,000㎡毎に1検体（5試料）採取してください。

【敷地が四角に近い場合の試料採取】

（掘削平面）

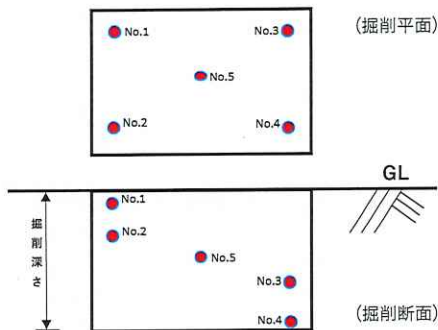
○現場内で偏らないよう5地点採取する。

（掘削断面）

○採取深さは、表土部分から掘削床付け部分まで  
 バランスよく採取する。

（例）掘削深さ5mの場合

GL-0.5m、-1.5m、-3.0m、-4.0m、-5.0mで採取する。



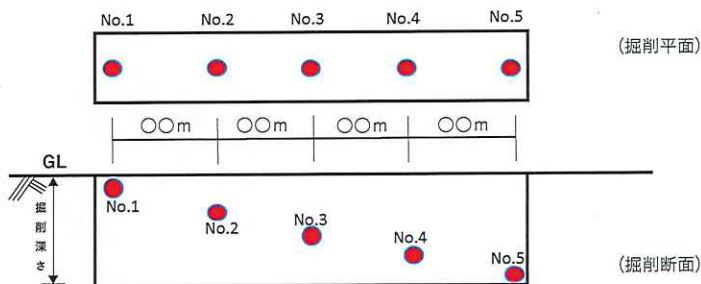
【敷地が延長方向に長い場合の試料採取】

（掘削平面）

○延長方向で5地点採取する。

（掘削断面）

○採取深さは、表土部分から掘削床付け部分まで  
 バランス良く採取する。



※汚染土の可能性のある場合は、検体数を増やす必要がありますので別途ご相談ください。

【採取及び写真撮影にあたっての注意事項】

- ① 採取前に路盤を含む舗装や植栽、コンクリートガラなど建設発生土以外のものを除去する。
- ② 上図No.1～No.5の各箇所て試料を採取する。
- ③ 試料は各地点において、チャック付ビニール袋及び遮光性のガラス瓶のそれぞれに採取し、隙間ができない様に密閉する。
- ④ 採取状況写真に用いる黒板の記載事項は、記入例を参考にしてください。
- ⑤ 上図採取箇所にポールやカラーコーンを立て全体を写真撮影する。
- ⑥ 各試料採取箇所の写真撮影（採取試料、採取穴及び穴の深さが明確になるように）。
- ⑦ 各試料採取後、1箇所に5箇所分の試料（チャック付ビニール袋5個、ガラス瓶5個）をまとめ、写真撮影をする。
- ⑧ 採取した試料は専門の機関で5試料を混合し、試験を行う。

地質分析の試料採取状況写真用黒板記入例

工 事 件 名	○○○○○新築工事	
試 料 採 取 場 所	No.1 GL-3.5m	
地質分析（濃度）試験採取状況・計量証明書		
試験採取者		
所属	（株）○○○○	
氏名	○○○○○	
施 工 者	○○○建設	立会者 ○○○○

- ◎写真はカラー写真。
- ◎検査試料採取調書と連動します。
- ◎工事名、採取場所、採取深度などが分かるように。
- ◎深さは地盤高さ（GL）からの下がりとなります。

採取日の当日又は翌日までに専門機関に分析を依頼してください。